

STOP 糖尿病

2021年10月18日発行 糖尿病ケアチーム通信 第6号



経口糖尿病配合薬

現在、国内で発売されている経口糖尿病配合薬は10種類あります。

配合薬を使用するメリットとしては、患者様の服薬錠数や回数を減らすことによりアドヒアランスの改善が期待できます。しかし配合薬によって用法や注意事項が異なるため注意が必要です。また、配合薬の適応は2型糖尿病のみです。

商品名	成分①	規格①	成分②	規格②	用法・用量
メタクト配合錠LD メタクト配合錠HD	メトホルミン	500mg	ピオグリタゾン	15mg 30mg	1日1回 朝食後
ソニアス配合錠LD ソニアス配合錠HD	グリメピリド	1mg 3mg	ピオグリタゾン	15mg 30mg	1日1回 朝食前または朝食後
リオベル配合錠LD リオベル配合錠HD	ネシーナ	25mg	ピオグリタゾン	15mg 30mg	1日1回 朝食前または朝食後
グルベス配合錠	グルファスト	10mg	ボグリボース	0.2mg	1日3回 食直前
エクメット配合錠LD エクメット配合錠HD	メトホルミン	250mg 500mg	エクア	50mg	1日2回 朝、夕
イニシク配合錠	メトホルミン	500mg	ネシーナ	25mg	1日1回 食直前または食後
カナリア配合錠	テネリア	20mg	カナグル	100mg	1日1回 朝食前又は朝食後
メトアナ配合錠LD メトアナ配合錠HD	メトホルミン	250mg 500mg	スイニー	100mg	1日2回 朝、夕
トラディアンス配合錠AP トラディアンス配合錠BP	トラゼンタ	5mg	ジャディアンス	10mg 25mg	1日1回 朝食前または朝食後
スージャヌ配合錠	ジャヌビア	50mg	スーグラ	50mg	1日1回 朝食前または朝食後

造影剤使用時注意が必要な配合薬

ヨード造影剤を投与することにより造影剤腎症が起こり、腎機能が低下。それによりメトホルミンの排泄が遅延し乳酸アシドーシスを起こす可能性があります。そのため、ヨード造影剤使用の際は(緊急時を除く)2日前から休薬し検査後48時間は投与を再開しないよう注意が必要です。

- メトホルミン含有の配合薬
- ★メタクト配合錠 LD/HD
 - ★エクメット配合錠 LD/HD
 - ★イニシク配合錠
 - ★メトアナ配合錠 LD/HD

低血糖に注意が必要な配合薬

スルホニル尿素薬(SU薬)やグリニド薬は低血糖になる可能性がある薬剤です。これら含有の薬剤は食事量が少なかったり食事を摂らなかったり、用法を間違えたりすると低血糖になる可能性があるため注意が必要です。

- SU薬含有の配合薬
- ★ソニアス配合錠 LD/HD
- グリニド薬含有の配合薬
- ★グルベス配合錠
(グルベスは食直前服用)

